

エコアクション21 環境活動レポート

対象期間 平成28年7月1日～平成28年9月30日



発行日 平成28年10月20日

改定日 平成29年2月3日

株式会社 三洋電機製作所

目 次

1.組織概要	2
2.実施体制	3
3.環境方針	4
4.環境目標	5
5.環境活動計画	6
6.実績	7
7.環境活動の取組み結果	8
8.環境関連法規等の遵守状況の確認	9
9.代表者による全体の評価と見直し	10

1.組織概要

①事業所名及び代表者氏名

株式会社 三洋電機製作所

代表取締役 石川 守彦

②所在地

愛知県小牧市大字横内字下割子287番地3

③事業概要

自動車用部品のプレス加工・溶接・組付

およびそれに係る金型・治工具等の製造

④事業の規模

敷地面積 6,893㎡

延床面積 3,594㎡

従業員数 50名(平成28年10月1日現在)

⑤環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 生技課 課長 岩下 雄大

担当者 総務課 課長 千田 正和

連絡先 電話 0568-72-6261

FAX 0568-73-3473

⑥事業年度

4月1日～翌3月31日

⑦対象範囲

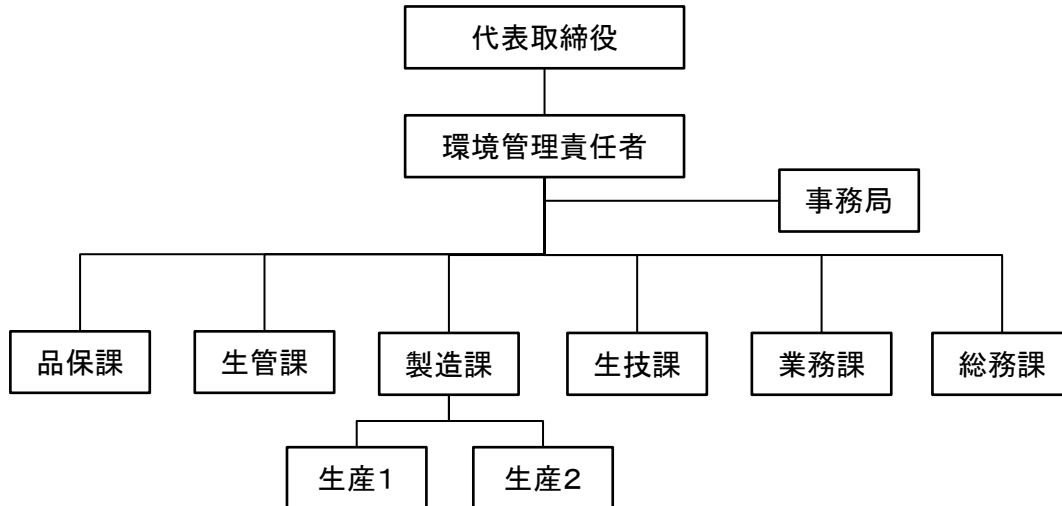
全事業、全活動

⑧レポート対象期間

平成28年7月～平成28年9月

2.実施体制

①システムの推進体制



②システムの役割と責任

区分	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な資源を用意する ・環境目標及び環境活動計画の承認 ・全体の評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境責任者の業務の補佐 ・環境活動の実績集計 ・外部からの問合せ、苦情等の窓口業務 ・環境活動レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)
所属長 (課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・自部署における環境方針の周知 ・自部署の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部署における環境活動の実施及達成状況の報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・エコアクション21について決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加

3.環境方針

環 境 方 針

【基本理念】

当社で働く一人ひとりが、地球環境保全の重要性を確認し、生産活動において、環境に与える負荷を軽減し、より住みよい環境作りを目指し活動する。

【活動指針】

- 1.国・地方公共団体等の環境法規制を遵守すると共に、自動車用プレス及び自動車用電気部品の生産活動が及ぼす影響を的確に捉えて、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定し、継続的な改善・向上に努めます。
- 2.環境保全活動の基本は、発生源対策との認識のもと、CO2・廃棄物・水使用量の削減に努め、エネルギーの消費の少ない工場作りに継続的に取り組みます。
- 3.当社で使用する事務用品、資材等のグリーン購入を推進します。
- 4.環境教育を通して環境保全に関する意識を高め、各生産工程における環境保全は、一人ひとりが自覚と責任を持ち、自主管理の徹底に取り組みます。
- 5.地域社会の一員としての自覚を持ち、地域社会における環境保全への活動に積極的に取り組みます。
- 6.環境方針は、社内教育・広報活動を通じて全社員へ周知させると共に、社外に対しても公開します。

平成28年1月1日

株式会社 三洋電機製作所

代表取締役 石川 守彦

4.環境目標

①中期目標

項目	単位	実績 平成27年4月～ 平成28年3月	平成28年4月～	平成29年4月～	平成30年4月～	
			平成29年3月	平成30年4月	平成31年5月	
			目標 削減率	目標 削減率	目標 削減率	
二酸化炭素の 排出量削減	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	421,392 基準	417,178 -1%	412,965 -2%	408,751 -3%
	電力使用量	kWh	802,983 基準	794,953 -1%	786,923 -2%	778,894 -3%
	ガソリン使用量 *1	ℓ	4,657 基準	3,260 -30%	3,213 -31%	3,167 -32%
	軽油使用量 *1	ℓ	2,439 基準	1,708 -30%	1,683 -31%	1,659 -32%
	LPG使用量 *2	kg	48 基準	48 —	48 —	48 —
廃棄物の 排出量削減	一般廃棄物	kg	2,738 基準	2,711 -1%	2,683 -2%	2,656 -3%
	産業廃棄物	kg	3,737 基準	3,700 -1%	3,662 -2%	3,625 -3%
水使用量の削減	上水道使用量	m ³	1,095 基準	1,084 -1%	1,073 -2%	1,062 -3%
化学物質使用量 の適正管理	化学物質使用量 *2	kg	39 基準	39 —	39 —	39 —
グリーン購入	事務用品の グリーン購入	%	22% 基準	23% +1%	24% +2%	25% +3%
不良廃却品の 低減	工程内不良率	%	データなし 基準	現状把握	現状把握後設定	
地域社会活動	地域清掃活動	回	実績なし	会社前歩道 週1回	会社前歩道 週1回	会社前歩道 週1回
				会社周辺側溝 年2回(4月・12 月)	会社周辺側溝 年2回(4月・12 月)	会社周辺側溝 年2回(4月・12 月)

・二酸化炭素排出係数は、中部電力平成29年度 0.497kg-CO2/kWhを使用しました。

*1: 集計車両の台数と使用頻度の減少が確実なので削減率は他の項目に比べ、高い数値を設定した。

*2: LPG及び化学物質は、使用量が少ないため削減目標を設定しないが使用量の管理を行う。

②試行期間の目標

項目	単位	試行期間の削減目標		
		平成27年7月～9月 実績	平成28年7月～9月 目標	
二酸化炭素の 排出量削減	二酸化炭素排出量	kg-CO2	121,657	120,440 -1.0%
	電力使用量	kWh	234,605	234,605 -1.0%
	ガソリン使用量	ℓ	1,372	961 -30.0%
	軽油使用量	ℓ	707	495 -30.0%
	LPG使用量	kg	6	6 —
廃棄物の 排出量削減	一般廃棄物	kg	データなし	現状把握 —
	産業廃棄物	kg	696	689 -1.0%
水使用量の削減	上水道使用量	m ³	284	281 -1.0%
化学物質使用量の 適正管理	化学物質使用量	kg	9.8	9.8 —
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	%	22	23 1%増加
不良廃却品の低減	工程内不良率	%	データなし	現状把握 —
地域社会活動	会社前歩道清掃（週1回）	回	実績なし	12回

5.環境活動計画

* 環境目標を達成するために、次の活動計画に取り組めます

環境目標		活動内容	担当部署
二酸化炭素の 排出量削減	電力使用量	エアコンの設定温度管理 不使用、不在時のエアコン、 照明のスイッチOFF 不使用設備のメイン電源OFF 電気使用量の監視・確認	全部署 全部署 全部署 総務課
	ガソリン使用量 軽油使用量	社用車エコドライブの励行 社用車アイドリングストップ	全部署
廃棄物の 排出量削減	一般廃棄物	廃棄物の分別徹底	全部署
	産業廃棄物	排出量の監視・確認	総務課
水使用量の削減	上水道使用量	節水意識向上	全部署
		上水道使用量の監視・確認	総務課
化学物質使用量 の適正管理	化学物質使用量	購入量の監視	総務課
グリーン購入	事務用品	グリーンマーク商品を積極的に購入	総務課
不良廃却の低減	工程内不良率	工程内不良を減らす	製造課
地域社会活動	地域清掃活動	歩道・・・毎週月曜日の朝、就業前に実施する 側溝・・・年2回、長期連休前(4月・12月)に 実施する	全部署

6.実績

項目	単位	基準	平成28年 7月～9月		達成率	評価	
		平成27年 7月～9月	目標	実績			
二酸化炭素の 排出量	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	121,657	120,440	120,338.4	100.1%	○
	電力使用量	kWh	234,605	232,259	238,252.0	97.5%	△
	ガソリン使用量	ℓ	1,372	960.7	481.6	199.5%	○
	軽油使用量	ℓ	707	494.6	301.4	164.1%	○
	LPG使用量の 適正管理	kg	6.0	6.0	6.0	—	—
廃棄物の 排出量	一般廃棄物	kg	データなし	現状把握	710.0	—	—
	産業廃棄物	kg	696.0	689.0	685.0	100.6%	○
総排水量	上水道使用量	m ³	284.0	281.0	268.0	104.9%	○
化学物質使用	化学物質使用 量の適正管理	kg	9.8	9.8	7.8	—	—
グリーン購入	事務用品	%	22.0	23.0	20.4	88.7%	×
不良廃却の削 減	不良率	%	データなし	データ把握	0.55%	—	—
地域社会活動	会社前歩道清 掃	回	実施なし	12	12	100.0%	○

評価基準 達成率が100%以上:○ 90～100%未満:△ 90%未満:×

7.環境活動計画の取組結果

項目		達成状況	環境活動計画実施状況 達成・未達成の要因	今後の環境活動 計画への取組
二酸化炭素の 排出量削減	二酸化炭素 排出量	達成	自動車燃料の使用量が減ったため	省エネ活動の周知徹底
	電力使用量	未達成	・猛暑の影響で空調の使用 頻度・時間が増えたため ・猛暑の影響でコンプレッ サーの制御運転機能を停 止させたため	・空調温度の適正管理徹底 ・夏季におけるコンプレッサーの 効率の良い稼働方法の構築
	ガソリン使用量	達成	エコ活動以外の要因(対象 車両の減少など)が大きい と思われる	エコ運転を浸透させる
	軽油使用量	達成	エコ活動以外の要因(使用 頻度の減少など)が大きい と思われる	エコ運転を浸透させる
	LPG使用量の 適正管理	—	適正管理ができた	引き続き使用量のチェックを 継続
廃棄物の 排出量削減	一般廃棄物	—	現状把握できた	分別の浸透を図る
	産業廃棄物	達成	埋立ゴミの分別を定期的に 確認し、金属類は有価物に した	分別の浸透を図る
水使用量の削減	上水道使用量	達成	節水意識の浸透	節水活動の継続
化学物質使用 量の適正管理	化学物質使用量	—	適正管理ができた	引き続き購入量のチェックを 継続
グリーン購入	事務用品の グリーン購入	未達成	エコマーク商品の浸透 が不十分	購入時にエコマークなどの 確認を推進する
不良廃却の低 減	工程内不良	—	現状把握ができた	目標の設定および低減活動 の推進
地域清掃活動	会社前の歩道 清掃	達成	十分な活動ができた	活動を継続する

8.環境関連法規等の遵守状況の確認

①適用となる環境法規等

適用法令など	該当施設設備など	法規の要求事項	評価結果
廃棄物処理法	産業廃棄物	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	○
	一般廃棄物	産業廃棄物の適正処理 (収集運搬、処理業者への委託)	○
		マニフェストの交付と期間内処理の確認	○
		マニフェスト交付状況の知事への 年度報告	○
騒音規制法	動力プレス機械 コンプレッサー	特定施設の設置・使用届出 規制基準の遵守	○
振動規制法	動力プレス機械	特定施設の設置・使用届出 規制基準の遵守	○
浄化槽法	浄化槽	保守点検基準の遵守 清掃基準の遵守	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	定期的な確認 フロンの適正処理	○
消防法	消防用設備 少量危険物保管施設	危険物取扱、施設点検の遵守	○
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫、 洗濯機	使用済特定家電の引取業者への 適正な引渡	○
小型家電リサイクル法	パソコン、モニター、デジタルカメラ、 計算機、プリンターなど	使用済小型家電の引取業者への 適正な引渡	○
県民の生活環境の 保全等に関する条例	駐停車時の自動車	アイドリングストップの励行	○
特定工場における公害 防止組織の整備に関する法律	公害防止組織の整備	公害防止統括者、公害防止管理者の 選任、届出	○

②違反、訴訟等の有無

過去3年間、当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの
訴訟はありませんでした。

9. 代表者による全体評価と、見直しの結果

エコアクション21の取り組み状況を評価し、全般的な見直しを行った結果、厳しい環境下のもと更なる発展をするためにはコストダウンが求められる。その具体的方策としてエコアクション21の活動を強化し、更なるムダの排除、エネルギーの削減に取り組むこととする。具体的方針は以下の通り。

1. 電力使用量が前期より増加したことにつき改善策を検討のうえ更なる削減に努めること。
2. その他の事項については概ね満足する結果であったが更なる削減に努めること

以上